

# 19. 京都産業大学

テーマ	学生スタッフ「LINK」主導の多言語イベント実践報告 ～言語学習を目的とした学生主体の準正課活動の事例として～	
発表代表者	ハフマン 美亜:京都産業大学 教育支援研究開発センター事務室(グローバルコモンズ 学習支援担当)職員	
連名発表者	和田 潤青:京都産業大学 外国語学部 ヨーロッパ言語学科 ロシア語専攻 4 年 吉田 壘:京都産業大学 外国語学部 ヨーロッパ言語学科 ドイツ語専攻 4 年 小嶋 智廣:京都産業大学 法学部 法律学科 3 年 レイシー アンドレア:京都産業大学 教育支援研究開発センター事務室 グローバルコモンズ 学習支援担当 杉江 昌子:京都産業大学 教育支援研究開発センター事務室 グローバルコモンズ 学習支援担当	
キーワード	学生スタッフ	多言語イベント
	準正課・課外	主体的な学び
発表の概要	<p>京都産業大学グローバルコモンズ学生ボランティアスタッフ「LINK」は、準正課の学生主体の活動として、英語ディスカッションをはじめ、外国語学習や異文化理解を目的としたイベントを幅広く実施している。定期開催するロシア語・ドイツ語・フランス語などの多言語会話イベントは、対象言語や文化に関心をもつ学生が集い、交流しながら学び合う場となっている。本発表では、各言語イベントを担当する学生が、参加者との対話の進め方、自作カードゲームなどを用いたアクティビティ、運営上の工夫など、具体的な実践を紹介する。また、メンバー自身の「言語が好き」「もっと学びたい」という思いがイベントの企画・実施にどのように反映されているかにも触れる。さらに、活動への関与を通して生まれた意識や学習意欲の変化を学生の視点から報告し、多言語イベントでの運営経験が自己成長へとつながったプロセスを、準正課活動の実践例として共有する。</p>	